

学術情報基盤オープンフォーラム2025

在学資格証明を通じた民間サービスとの 連携のミライ

WESTER 

2025 / 06 / 17



西日本旅客鉄道株式会社
デジタルソリューション本部
WESTER-X事業部



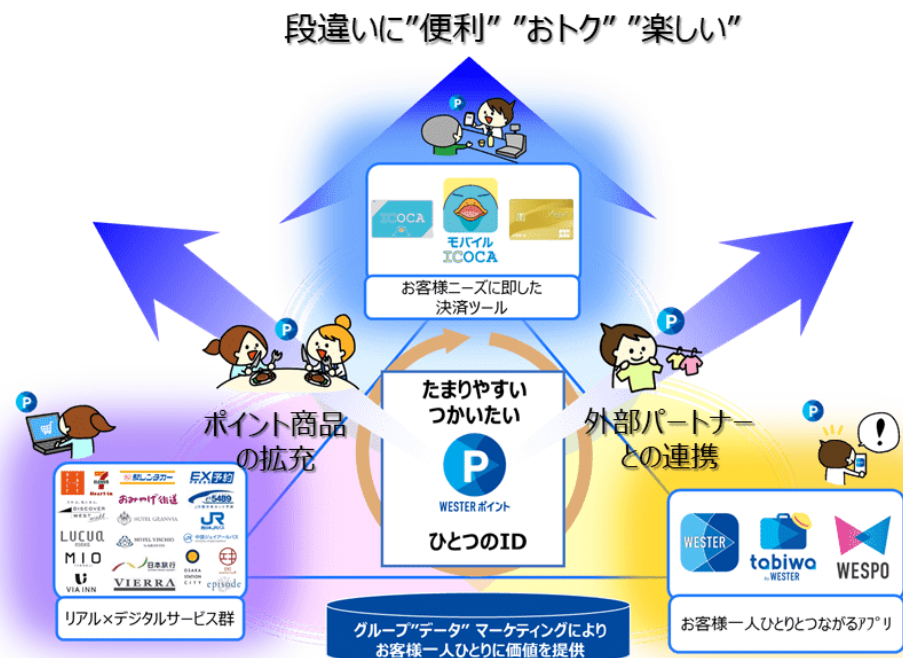
内田 修二 Uchida Shuji

2002年入社。本年年男の47歳。

駅業務、在来線運転士を経て、支社営業部門での従事後、本社経営企画部門で地域交通計画を担当。15年にブラジル旅客鉄道事業参画検討プロジェクトの実務リーダーとして参画決定に携わり、16年より日系商社現地法人に出向し、当社鉄道技術を活用した現地鉄道事業の価値向上に向けた調整役を担う。

帰国後は、自動運転・隊列走行BRTプロジェクト立ち上げ、アプリ「WESTER」プロジェクトオーナー、グループデジタル戦略策定等数多くのプロジェクトに携わり、23年4月より決済、ID、ポイントといったデジタルサービスを通じて段違いに便利でおトクで楽しい体験を提供する事業部の次長を担う。

“WESTER体験”の創出を通じた グループシナジー発揮

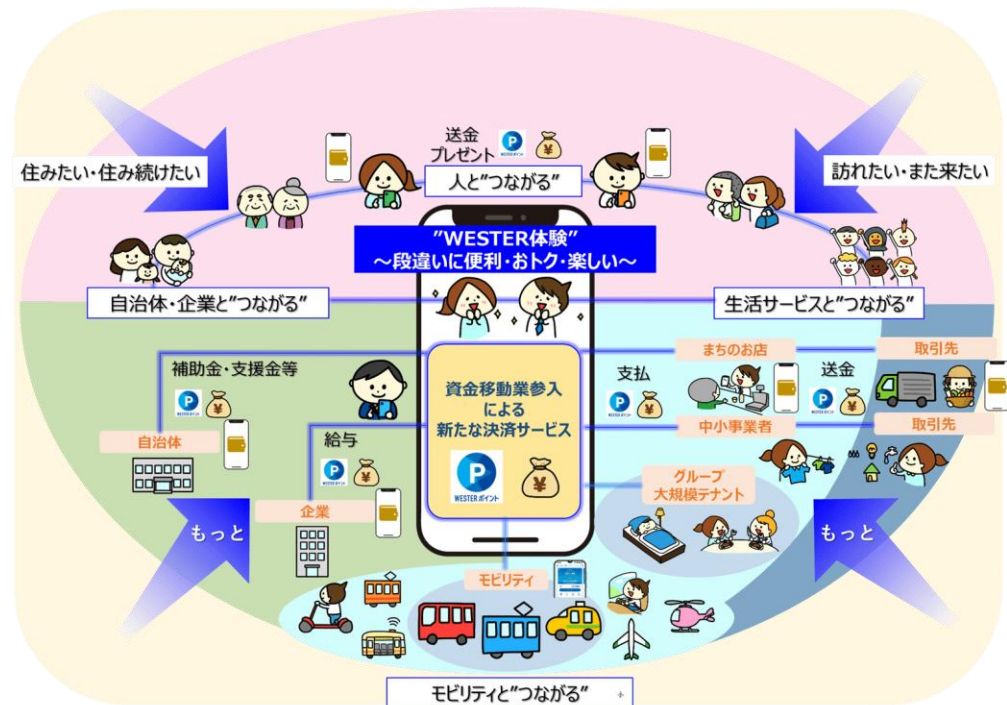


グループマーケティング

ポイントの魅力向上

個客接点の日常化

未来を動かす“新たな事業”



● “よこてん”で広がるデータソリューション事業

- データ分析・AIを駆使して内部向けに開発したデータソリューションを他鉄道会社や親和性高い産業領域へ横展開（よこてん）するデータインフォームドコンサルティング事業を拡大

JRW Data Analytics
BEYOND THE RAILWAY



さらなる
進化

デザインの力



“個”客起点



ICOCA



デジタル・データのカ

リアルのカ

リアルとデジタルの融合に向けた課題とめざす姿

有人で対応してきた証明書発行機関及び検証機関の省人化と利用者の利便性向上の両立を実現し、人口減少社会においても人にやさしいデジタル化を実現する

現状の課題



有人対応は時間や場所などの制約を受ける

- 窓口の空いている時間に紙の資格証明書を取得する必要がある
- 検証機関は有人で本人確認し、紙の証明書を受け付ける
- 検証機関は証明書の真正性の確認が困難

目指す姿



マイナンバーカード活用により非対面、機械化で手続き完結

- 利用者はいつでもどこでも申請でき、紙やカードを持ち歩く必要がない
- 発行機関、検証機関の受付業務の効率化が期待できる
- 不正利用の防止

マイナンバーカード利活用：在学資格証明デジタル化実証実験

■実証概要

マイナンバーカードによる本人確認と、デジタル在学証明書を組み合わせ、大学の証明書発行業務と、駅での検証業務の省人化可能性を検証するもの。

< 検証内容 >

- ①利用者（大学生）の利便性向上と発行機関（大学）、検証機関（交通機関）の業務効率化
- ②採用技術の実効性
- ③発行機関、検証機関の横展開可能性
- ④社会実装課題の整理と解決案

■期待されるメリット

学生

- ・大学や駅に並ぶことなく、証明書取得、提出
- ・いつでもどこでも学割チケット購入
- ・デジタルチケット（顔認証等）で交通機関に乗車

大学

交通機関

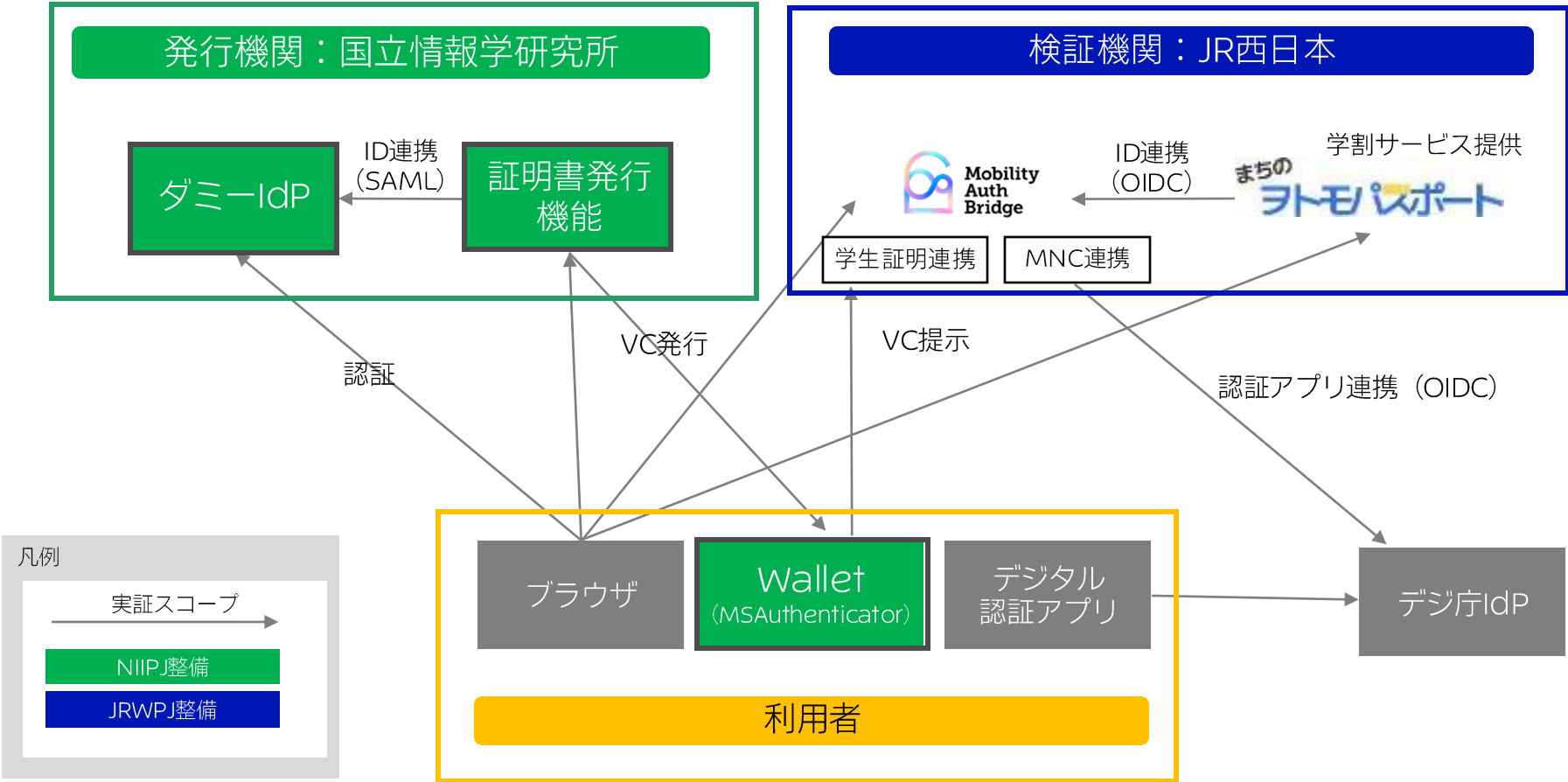
- ・窓口業務の業務負担軽減、省人化

マイナンバーカード利活用：在学資格証明デジタル化実証実験

■システム連携図

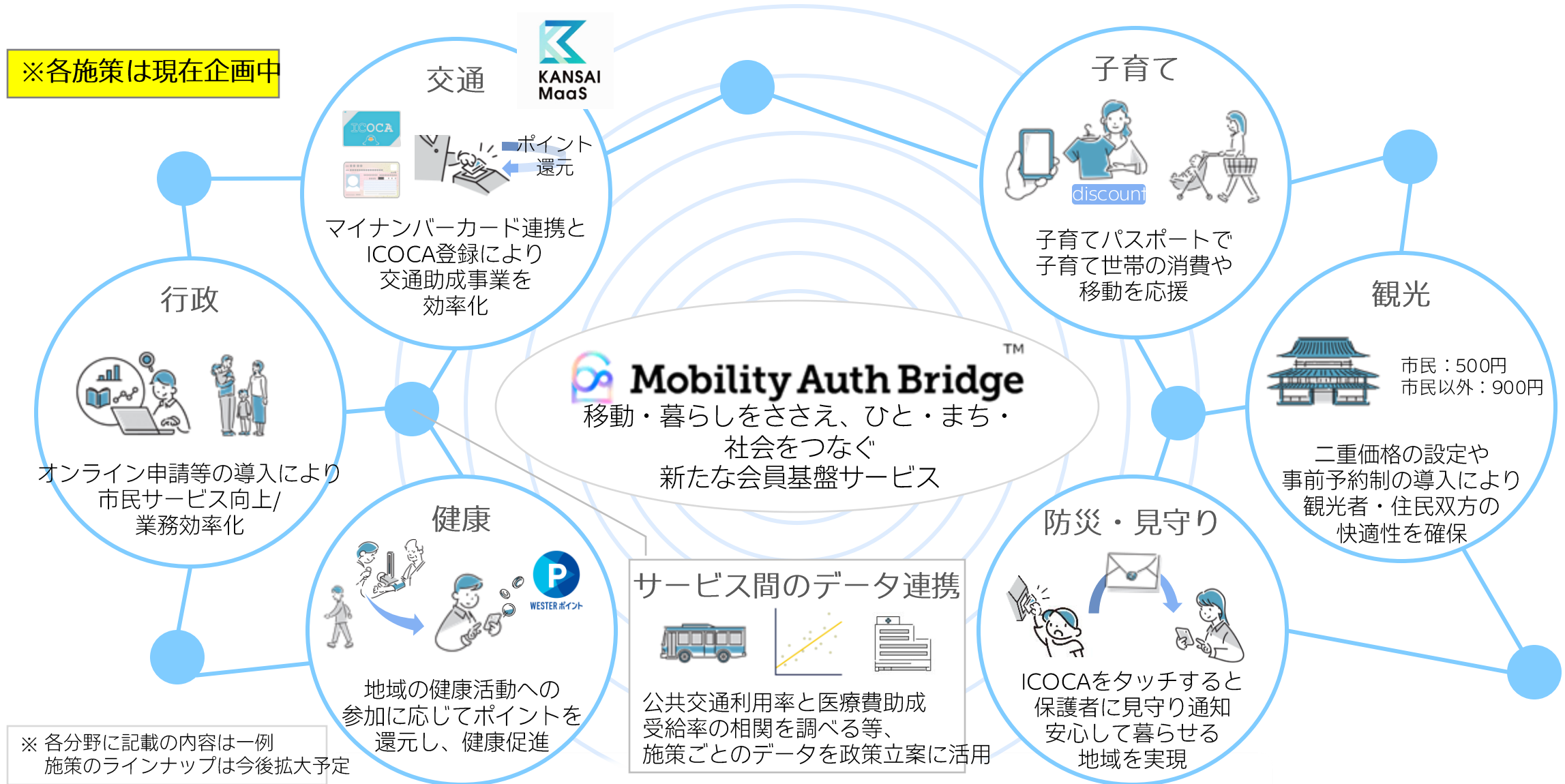
発行機関、検証機関、利用者それぞれが疎結合されたモデル

産学官で連携しモデルを作り上げる事で、信頼性を担保した上で、検証コストを抑え、発行機関、検証機関の拡張性を見込み、社会実装への展開可能性を検証する。



Mobility Auth Bridgeとは

まちの様々なサービスを「Mobility Auth Bridge」という1つのIDプラットフォームで実現をめざす



まちのヲトモパスポートとは

まちのヲトモパスポートは自治体様独自のチケットを販売/提供し、様々な施策に活用可能なデジタルチケットプラットフォームです。

まちの取り組み/魅力を発信



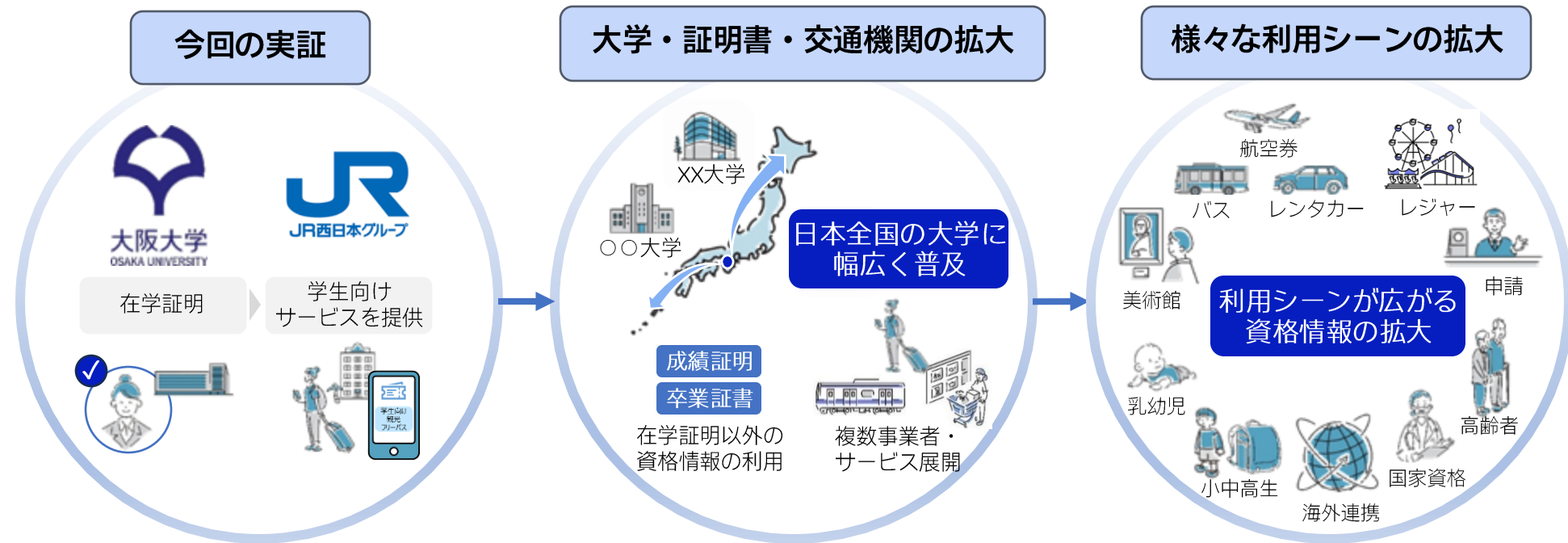
様々なデジタルチケットを販売/提供



Web上でチケットを表示・利用



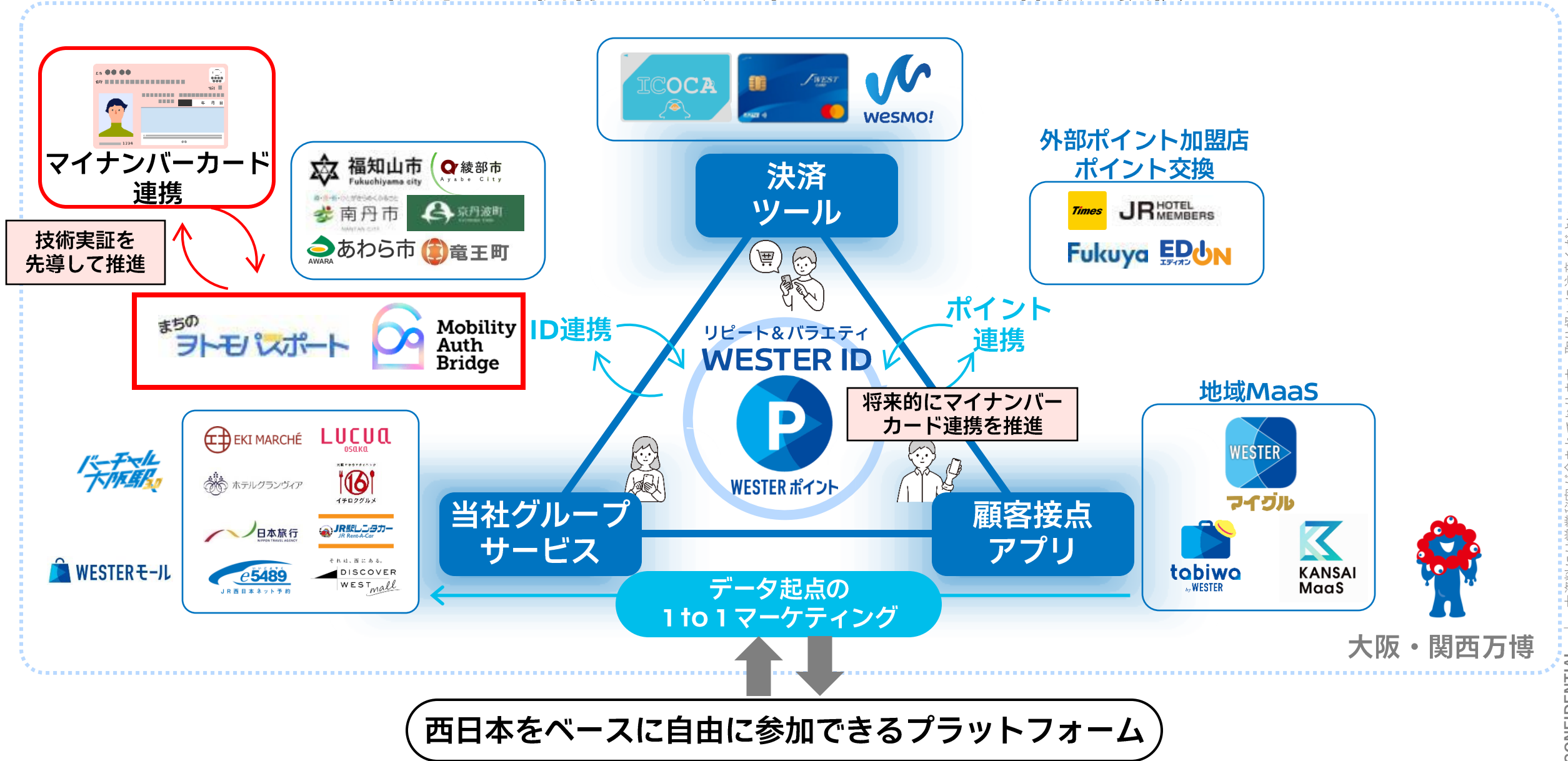
資格証明を通じた民間サービスとの連携のミライ



今後、大学・証明書・交通機関の拡大と、文教分野の他、様々な利用シーンの拡大をにらみ社会実装に向けた技術検証を推進。

JR西日本グループがめざすミライ

段違いに“便利”“おトク”“楽しい”WESTER体験を提供



人、まち、社会のつながりを進化させ、
心を動かす。未来を動かす。

WESTER 

